



令和3年度 二戸支部会議

令和3年12月9日(木) 18時～19時

形式：オンライン（ZOOM）

次 第

1、報告事項

- ・ 令和3年度二戸支部動向調査について
- ・ 令和3年度大規模災害を想定した災害訓練について

2、協議事項

- ・ 二戸支部活動の取り組みについて
(気仙支部の取り組みから、これからの二戸支部活動について考える)

講師：気仙支部支部長 清水 陽平 氏

(介護老人保健施設 気仙苑)

3 その他連絡事項等

- ・ 携帯電話メール連絡システム登録のお願い(広報局より)
- ・ 情報交換

県立一戸病院

かわさきクリニック

介護老人保健施設 湯の里

介護老人保健施設 花の里かるまい

介護老人保健施設 こずやサンブルク

社会福祉法人カナンの園 小さき群の里

県立軽米病院

令和3年度 二戸支部会議

「二戸支部会議を開催して」

まずは地域局の吉田さんをはじめ、ご尽力いただいた岩手
作業療法士会会員の皆様にお礼を申し上げます。

今回の会議は「Zoom」を使用したWEB会議となりましたが、心配していたトラブルもほとんどなく、比較的スムーズに行えたと思います。ただ、全施設が参加できればよかったのですが、10施設中3施設の予定が合わず欠席となり7施設のみの参加となったところが残念でした。

内容としては動向調査の結果をもとに岩手県全体及び二戸地区の現状などについての説明、災害訓練の結果などについて報告があり、現在どのようなかたちで作業療法士会が動いているかの概要が分かったと思います。

また、気仙支部長から気仙支部での活動や取組について紹介がありました。二戸支部では現在のところ市町村などからの作業療法士個人に依頼のあったものに関しては対応していますが支部としての活動はほとんど行えておらず、県士会からの「災害訓練」の対応や研修会への会員の参加依頼などに何とか対応しているだけといった状況です。今回の気仙支部の情報は私をはじめ参加した会員に今後支部活動を行っていくにあたり参考になるところが多かったのではないかと思います。

終わりのほうで一言ずつではありますが参加施設から近況報告を行ってもらいました。正直、同じ支部とはいえ各施設でどのようなことが行われているかあまりわからない状況でしたので、少しではありましたが各施設の状況がわかったのではないかと思います。

余談ですが会議を行ってみて改めて作業療法を行う上で「認知症」というキーワードが年々重要性を増してきているように感じました。精神科などにおいて認知症と診断された患者さんの治療・訓練を行うのは当然ですが、認知症の患者さんが何らかの原因で麻痺などの身体機能低下がみられた場合、症状により違ってくるとは思いますが、何科で対応するのか、どのような対応を行うかを見極めないと患者さんに不利益をもたらす可能性があると思います。

今後、どの分野においても認知症の患者さんに対応する機会が増えてくると思いますので二戸支部でも連携を取りしっかり対応できるようにしていきたいと思います。

二戸支部支部長

若松 健 氏
(県立一戸病院)

